

まっすぐ



田中智也
県政レポート
vol.3

平成24年8月

発行人:田中智也 〒510-0839 四日市市青葉町800-92 電子メール:bottlenose@khaki.plala.or.jp
 TEL・FAX :059-353-5995

**たくさんのご意見を
 お待ちしております!**

一年を振り返って



昨年の4月に初当選させていただいてから、早いもので一年余りが経過いたしました。

この一年間、県議員として走ってこられたのも、ご支援いただいている皆様方のおかげと深く感謝しております。

昨年度は、「政策・総務常任委員会」に所属するとともに「三重県都市計画審議会委員」として、そして会派内では政策局の担当として活動させていただきました。また、「歯と口腔の健康づくり推進条例検討会」の委員として議員提案の条例づくりにも参画しました。これらの議員活動を通じて県政に係る様々な見聞を広めさせていただきながら、いろいろな方々と意見交換をさせていただきました。そして自分なりに考え発言し行動してきましたが、一年間を振り返ってみると議員として成長した部分も多くあるものの、足らざるところも見えてきたというのが正直なところです。

これからも、みなさんと一緒に「いきいき暮らせる三重県づくり」に全力で取り組んでいきます。引き続きのご指導やご助言をお願いいたします。

三重県議会議員 **田中智也**

田中智也 県政報告

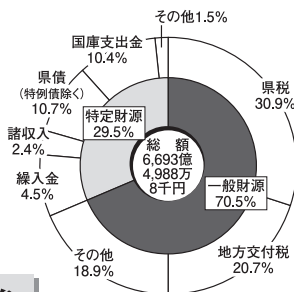
平成24年度当初予算案など

平成24年第1回定例会は、2月15日に開会し、6月27日までの134日間の会期となりました。この開会日には総額約6,693億円の新年度一般会計予算をはじめ、県の新しい総合計画「みえ県民力ビジョン」の策定や県組織改定の条例案など74議案が上程されました。これら議案の中で「県南部活性化基金」「災害ボランティア支援及びNPO促進基金」にかかる条例

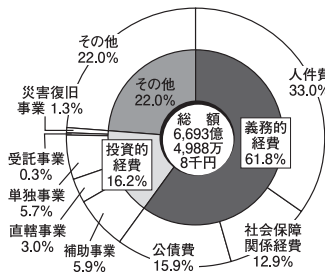
案については、取り組み内容や目的が明確となっておらず中途半端な基金ではないかと議会として判断し最終的には予算

決算常任委員会(3月15日)において附帯決議を行いました。

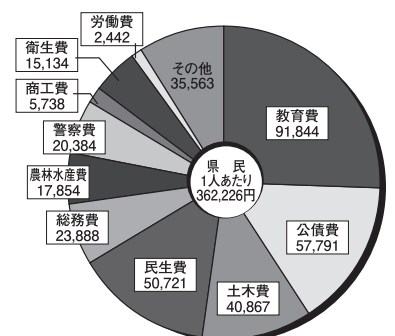
平成24年度当初予算の全体像



【歳入の構成比】



【歳出の構成比】



【県民一人あたりに使われる予算】

役員改選

5月には役員改選が行われ、副議長に我が会派から舟橋裕幸議員(5期、津市選出)が選出されました。(議長は任期が2年となっており今回は非改選でした)また常任委員会などの委員も決まり、私は今年度は健康福祉・病院常任委員会に所属することが決まりました。皆様もご存じのとおり私の前職は「臨床検査技師」です。病院や地域医療現場での経験を

県政に反映させる絶好の機会と捉えておりますが、そのことに慢心することなくしっかりと研鑽を積みながら取り組んでいきたいと思っています。

四日市港管理組合の議員に

地元の四日市港を管理する「四日市港管理組合」(特別地方公共団体)にも議会がありますが、その2年任期の議員(1期生にはハードルが高い)に、会派先輩諸氏の深いご理解とご厚情により就任さ

せていただくことができました。私は以前から北勢地域のものづくりを中心とする産業の発展は四日市港の発展なくしては成し遂げられなかったものであり、今後も四日市港をいかにして充実させ、背後圏の産業を振興させていくかが本県経済にとって非常に重要であると考えています。その議員に就任することは念願でありました。四日市港の発展、三重県の発展のためにフルパワーで頑張っていきます。



初の関連質問、農業についても勉強中

6月12日には関連質問(時間は10分)ではありますが農業について質問をしました。

『今年度からの総合計画「みえ県民力ビジョン」の農業振興施策の中では平成27年度の到達目標として「作る農業」から「もうかる農業」にしていっているが、どのようにして農産品を高付加価値化していくのか?』『高付加価値化するには農産品の加工分野に注

力すべきではないか』と質しました。私は確かに農業については素人です(生産したことも販売したこともありません。)が、これからの農業は生産効率を追求するだけでなく、消費が拡大する方向での取り組みも重要で生産から食品として加工するところまでを一つの産業として捉えて取り組んでいくことが必要だと考えています。



活動報告

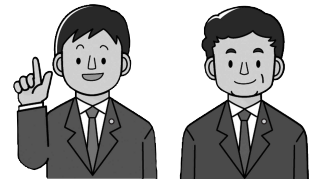
- 5/ 1日 茶業研究室訪問調査
3日 憲法を考えようフォーラム
7日 常磐地区防災協議会総会
10日 全員協議会
常磐地区社会福祉評議会総会
11日 常磐地区人権同和教育推進協議会総会
13日 四日市市障害者団体連合会定期総会
日中友好協会60周年記念講演
14日 常磐地区青少年育成協議会総会
15日 本会議
16日 県職労財政学習会
17日 三泗地域フォーラム総会
18日 三重県環境整備事業協同組合総会
亀山市立医療センター学習会
19日 三重県防災セミナー(民主党)
20日 西山農業祭り(農業研究所)
21日 会派政策局会議
22日 連合三重街頭行動(津駅西口)
自治労健康福祉評議会医療部会
24日 健康福祉・病院常任委員会
25日 四日市港利用促進協議会総会
26日 三重県教職員組合定期大会
27日 建労四日市家族大運動会
社民党定期大会
28日 四日市港管理組合臨時議会
29日 県四日市庁舎事務事業説明会
30日 福井市防災センター調査
福井県食品加工研究所調査
- 6/ 1日 本会議
連合三重との政策懇談会
三教組三泗支部組織委員会
2日 退職教職員互助会三泗地区のつどい
四日市市精神保健福祉会総会
3日 全港湾労組スポーツレクリエーション大会
4日 日本看護協会訪問
自治労本部訪問
5日 エネルギーを考える会
県職労財政学習会
四港労組意見交換会
6日 本会議
中部電力労組三重総支部定時大会記念レセプション
7日 本会議
8日 連合三泗地協化学部会見学会
MIEワーカーズクラブ執行委員会
9日 東海北陸里親会
11日 本会議
13日 本会議
公共サービスキャンペーン街宣(桑名駅)
中部電力四日市営業所支部定時大会
15日 健康福祉・病院常任委員会
中部電力電力センター支部定時大会
連合三重街宣行動(近鉄四日市)
16日 三教組三泗支部定期総会
地域医療を考えるシンポジウム
17日 「あした葉」講演会(訪問看護)
19日 健康福祉・病院常任委員会
21日 四日市市危機管理監訪問
松阪市議会議員との意見交換
22日 三泗地区高齢者退職者連合定期大会
23日 三教組三泗支部女性部定期総会
24日 MIEワーカーズクラブ交流会
25日 予算決算常任委員会
27日 本会議
全員協議会
四日市港管理組合労組定期大会
28日 三重県戦没者追悼式
四日市港管理組合訪問
29日 志摩病院労組設立大会
30日 県立総合医療センター独法設立記念講演会

議員報酬削減について

全国的にも議員の報酬についていろいろな議論がされていますが、三重県議会でも議員活動及び議会活動を支える議員報酬及び政務調査費の在り方について調査を行っています。この結果を踏まえた削減については、今後議論を深めていく必要があると考えていますが、当面どうしていくかについて会派間で協議がされました。

昨年度は報酬の10%、政務調査費の

20%を削減してきたことから、我が新政みえとしては、その継続を主張しました。しかし他会派からは異論があり調整の後、来年3月までの対応として、報酬の7.8%、政務調査費20%を削減することで決着し、6月27日に議員提案され可決されました。



地方独立行政法人 県立総合医療センター 設立記念講演会

今年の4月1日より、四日市にある県立総合医療センターは地方独立行政法人として新たな一歩を踏み出しました。県立病院改革の中で議論され最終的に、社会の変化やニーズに的確、そして迅速に対応していくための手段として、県の関与を今までより少し薄めて、一つの独立した法人として運営されることになりました。といっても、充実した先進医療機器の装備の下、救急救命センターでの救急医療、がんに対する高度先進医療の提供、地域周産期母子医療センターでの母体、新生児への対応、県指定病院として感染症や災害への対応、などなど病院の機能や役割は何ら変わっていません。また、三重県

は医師や看護師不足が深刻ですが、これらの課題にも県の基幹病院として役割を果たしていくこととなっています。

その県立総合医療センターで先日(6月30日)、設立記念講演会が開催され参加してきました。講師は三重大学附属病院救命救急センター長でもある、今井寛教授でした。日頃、緊迫した場面で冷静かつ的確な判断や処置、治療を行っておられるからこそのお話しにはスピード感と、力強さがありました。

先生は講演の最後に「自分の代には叶わないかもしれないが、100年かかっても三重県を医療崩壊から救って見せる」と強い決意を語られました。

これまで地域医療の現場で勤務してきた私も同じ思いで様々な活動をしてきましたが、先生の言葉は、「私も今まで以上に頑張らねばならない」と気を引き締め直す良い機会となりました。今年度は健康福祉・病院常任委員です、県民の保健や医療、福祉を守り充実させていきます。

